

令和元年10月21日、東松島市PTA連合会との議会懇談会を矢本西市民センターで行いました。

市議会議員によるワークショップ形式での議会懇談会は、石巻圏域では初の試みでした。

市PTA連合会から28名が参加し、本市議会の広報常任委員および民生教育常任委員の議員10名で5つのグループにわかれて、3つのテーマについてグループワークにより懇談し、意見交換しました。

市PTA連合会として、市内の小学校全8校、中学校全3校の各学校単位のPTAから代表者としてPTA会長等、3名程度に出席していただきました。各校からの参加で、各校の現状を踏まえた懇談ができました。

なお、ワークショップ後の全体懇談で、本市にも総合型地域スポーツクラブがあるが、健康増進に関する取り組みを見直し、強化してほしいというご意見があり、民生教育常任委員会で受け止めさせていただきました。

本市の将来を担っていく小中学生の保護者の中心として活動されているPTAの皆さまが日頃、市の教育について率直に感じていることを聞くことができました。また、PTA参加者の方からは、自校以外の学校の意見を聞くことができよかったという感想を聞くこともでき、大変有意義な懇談会となりました。

ご多用の中、熱海会長はじめご出席いただいた市PTA連合会の皆さまに厚く御礼申し上げます。

事前に設定した3つのテーマについて、グループワークで懇談した中で多数のご意見ができました。紙幅に限りがありますので、抜粋して掲載します。(順不同、グループ混在)

テーマ1 学力向上のためにどう取り組んでいけばよいか

課題・問題点 (現状)	対策 (誰がどうするか)
学力が高い地域 (他市) はなぜ高いのか。どうしているのか疑問。	学力が高いという秋田県などの保護者と意見交換の機会があるとよい。
平均点がわからない。学力で自校がどの位置にいるのかわからない。	先生に児童が楽しいと感じる授業をしてもらう。
学力が低いとダメなのか。保護者があまり他の自治体との学力比較を意識していない面がある。	図書館の自習室のような学習スペースの確保ができるとよい。
勉強を楽しみと感じられない児童が多い。	補習授業を学校の先生にボランティアでもらえればよい。または民間のNPOを補習授業等に利用してはどうか。
先生と子供の会話の時間が少ない。	学童で宿題をする習慣づけができればよい。
学校で補習授業があるとよい。	子ども食堂と一体で補習授業があるとよい。
やる気の無い子供が多いのかもしれない。やる気をどう出させるか。	家庭でも活字に触れる機会を増やし、読解力、国語力の向上を図る。漢字を覚えることにもつながる。宿題として読書感想文を多く書かせる。
学校教育で十分だが、集中力が足りない児童が多いのではないか。	各家庭に競争力を持たせる意識づけをする。親が家庭でみてあげる時間を意識してつくり出す。
活字に触れる機会が少ない。全体的に読解力、国語力が低い。	授業の進め方を考え、他県にならう。他県ではもっと早く授業を進めている。
夏休みの宿題が少ない。夏休みを減らしても意味がない。	子供の意欲向上は、家庭での励まし、保護者が関心を示し、ほめることで、夢や目標がみえ、勉強することの必要性がわかれば、向上心、やる気が起きる。
授業の理解力の個人差に先生が対応できていない。	小学校高学年で教科ごとに担当する先生を変え、中学校進学に備える。(例、平成28年度に鳴瀬桜華小学校で実施)
親が子供の勉強を見る時間を作れない。	
小学校、中学校間で学習内容にギャップがある。	
教員によって教え方が違い、クラスによって点数に差が出ている。	
経済的な理由で塾に入りたくても入れない世帯がある。	



▲ワークショップ形式による開催のため、5つのグループを編成し、各グループでファシリテーター(進行)および書記を議員が務めました。模造紙にふせんで次々とご意見を出していただくことで、非常に多くの多様なご意見を伺うことができました。